

銘柄コード:2669



# カネ美食品株式会社

## 2017年3月期 第2四半期 決算説明会

本資料に記載されている今後の業績見通し及び各情報などは、現段階における入手可能な事項と、当社が十分合理的であると判断した事項に限って記載を致しております。

今後起こり得る各要因によって、当社の今期計画の予定及び業績が著しく異なってくる可能性も有り得ますので、その点を踏まえてのご参考資料として頂ければ幸いです。



【本資料に関するお問合せ先】

カネ美食品株式会社 総務部TEL (052)879-6113(直)

E-mail: soumu-ir@kanemi-foods.co.jp

URL: <http://www.kanemi-foods.co.jp>

## テナント事業

- ・スーパーマーケットを中心に、百貨店や駅ナカなどへ出店
- ・東海地方を中心に関東、関西に店舗展開
- ・地域や周辺環境に合わせ、柔軟な対応ができるよう様々な業態やブランドを展開

### 【出店先】

■スーパーマーケット	269 店舗
ユニー(アピタ・ピアゴ)	253 店舗
その他(アオキスーパー、オオゼキ等)	16 店舗
■百貨店・駅ナカ・駅ビル等	31 店舗
百貨店	12 店舗
駅ナカ・駅ビル	14 店舗
その他(商業施設等)	5 店舗
■外食店舗	3 店舗
寿司御殿	3 店舗



アピタ金沢文庫店



eashion nonowa 国立店

## 外販事業

- ・東海地方を中心に関東、関西に15工場を配置
- ・コンビニエンスストアへ納品する弁当・おにぎり・パスタ等を製造
- ・鉄道各社の運営するコンビニエンスストアへ納品する弁当・おにぎり等を製造
- ・地域の生活協同組合から、主に夕食宅配弁当の製造を受託

### 【納品先】

■コンビニエンスストア	5,448 店舗
サークルK店舗、サンクス店舗	5,448 店舗
■鉄道系コンビニエンスストア	611 店舗
キヨスク(東海キヨスク)	77 店舗
NewDays、KIOSK(JR東日本リテールネット)	534 店舗
■宅配関連	
コープみらい、おおさかパルコープ、コープあいち 等	全 8 カ所の生活協同組合



コンビニエンスストア



NewDays

---

## I. 2017年3月期 第2四半期 決算概要

---

## II. 今後の見通し

---

---

### 会社概要

---

### 決算参考資料

---

# I. 2017年3月期 第2四半期 決算概要

# 業績の状況

(単位:百万円)

	2016年3月期 第2四半期		2017年3月期 第2四半期					
	実績	構成比 (%)	計画	構成比 (%)	実績	構成比 (%)	前期比 (%)	計画比 (%)
売上高	44,823	100.0	44,866	100.0	44,264	100.0	98.7	98.6
テナント事業	22,192	49.5	22,061	49.2	21,961	49.6	98.9	99.5
ユニー店舗	18,812	(84.8)	18,685	(84.7)	18,501	(84.2)	98.3	99.0
その他店舗	3,380	(15.2)	3,375	(15.3)	3,460	(15.8)	102.3	102.5
外販事業	22,631	50.5	22,804	50.8	22,302	50.4	98.5	97.8
サークルKサンクス店舗向	20,228	(89.4)	20,537	(90.1)	19,926	(89.3)	98.5	97.0
その他店舗	2,402	(10.6)	2,267	(9.9)	2,376	(10.7)	98.9	104.7
営業利益	1,741	3.8	1,643	3.6	1,564	3.5	89.8	95.1
経常利益	1,796	4.0	1,687	3.7	1,609	3.6	89.6	95.3
四半期純利益	1,081	2.4	1,002	2.2	1,020	2.3	94.2	101.7

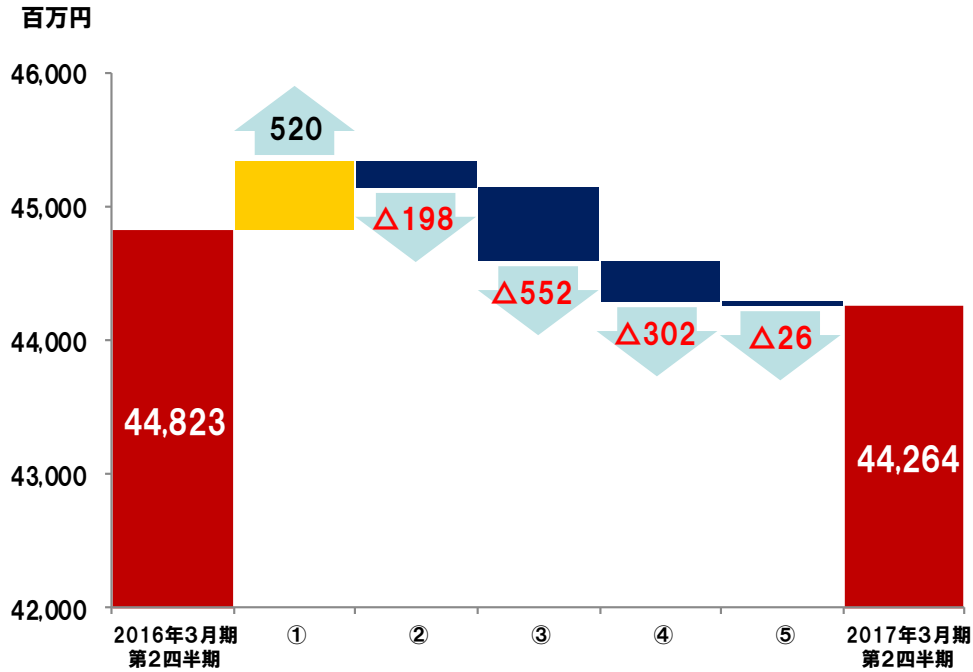
(注) 1. 売上高は各事業のセグメント間の内部売上高を除いて表示しております。

2. 2016年9月1日付にて、「ユニーグループ・ホールディングス株式会社」と「株式会社ファミリーマート」が経営統合されたことに伴い、その事業会社である「株式会社サークルKサンクス」は「株式会社ファミリーマート」に商号変更しております。



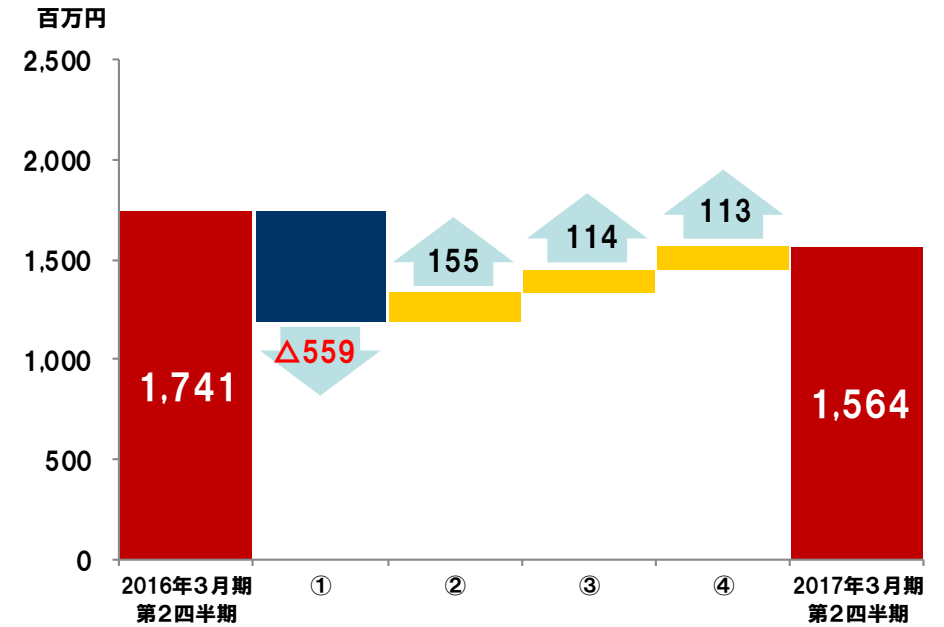
# 売上高と利益の増減要因

## 売上高の分析



2016年3月期 第2四半期 売上高	44,823百万円
①テナント 新設店舗による売上増加	520百万円
②テナント 既存店舗による売上減少	△198百万円
③テナント 廃店による売上減少	△552百万円
④外販 コンビニエンスストア部門の売上減少	△302百万円
⑤外販 その他部門の売上減少	△26百万円
2017年3月期 第2四半期 売上高	44,264百万円
増減額	△559百万円

## 営業利益の分析

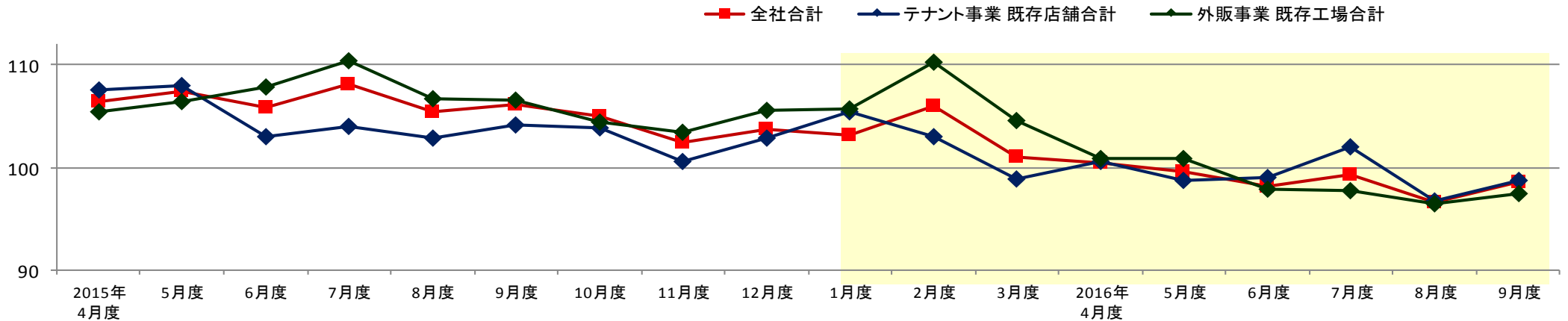


2016年3月期 第2四半期 営業利益	1,741百万円
①売上高の減少	△559百万円
②仕入高の減少	155百万円
③人件費の減少	114百万円
④その他経費の減少	113百万円
2017年3月期 第2四半期 営業利益	1,564百万円
増減額	△176百万円

# 月次売上高 前年比

		2016年3月期														2017年3月期 第2四半期						
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期累計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通期累計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期累計
全社合計		106.5	107.5	105.9	108.1	105.4	106.2	106.6	105.0	102.4	103.7	103.2	106.0	101.0	105.0	100.4	99.6	98.1	99.3	96.6	98.6	98.7
テナント事業	合計	107.8	108.7	104.0	105.7	104.3	106.0	106.0	105.6	101.3	102.2	101.3	102.1	97.5	103.7	99.9	98.3	98.3	101.0	96.7	99.7	98.9
	既存合計	107.6	108.0	103.0	104.0	102.9	104.2	104.9	103.9	100.6	102.8	102.5	103.0	98.9	103.4	100.6	98.8	99.0	102.0	96.7	98.7	99.2
	ユニー店舗	108.3	108.5	103.4	104.5	103.2	104.4	105.3	104.1	100.8	103.0	102.9	103.6	99.0	103.7	100.8	98.6	98.4	101.7	96.1	98.3	98.9
	その他	103.7	105.2	100.8	101.6	101.1	102.8	102.5	103.2	99.4	102.2	99.5	99.3	98.1	101.3	100.0	100.0	102.4	103.7	100.1	100.8	101.1
外販事業	合計	105.3	106.3	107.8	110.3	106.7	106.5	107.2	104.5	103.4	105.5	105.6	110.2	104.6	106.4	100.9	100.8	97.9	97.7	96.5	97.5	98.5
	既存合計	105.4	106.4	107.9	110.4	106.7	106.6	107.2	104.5	103.5	105.6	105.7	110.3	104.6	106.4	100.9	100.8	97.9	97.7	96.5	97.5	98.5
	サークルKサンクス向	105.7	107.5	108.0	111.5	107.8	108.9	108.3	106.7	104.8	107.7	107.5	111.1	105.9	107.7	102.0	100.5	97.7	98.0	95.9	97.2	98.5
	その他	102.5	96.8	106.6	100.2	97.5	89.3	98.8	88.5	93.1	89.2	92.2	103.3	94.9	96.2	92.9	103.4	99.2	94.9	101.6	100.2	98.8

- (注) 1. 既存店舗の区分は、開店月より14ヵ月経過した店舗と定義しております。  
 2. 外販事業合計には、サークルK名四弥富店の売上高が含まれています。  
 3. 上表の累計数値は、会計上の修正額を含めて計算しております。  
 4. 2016年9月1日付にて、「ユニーグループ・ホールディングス株式会社」と「株式会社ファミリーマート」が経営統合されたことに伴い、その事業会社である「株式会社サークルKサンクス」は「株式会社ファミリーマート」に商号変更しております。



# 貸借対照表、キャッシュ・フローの状況

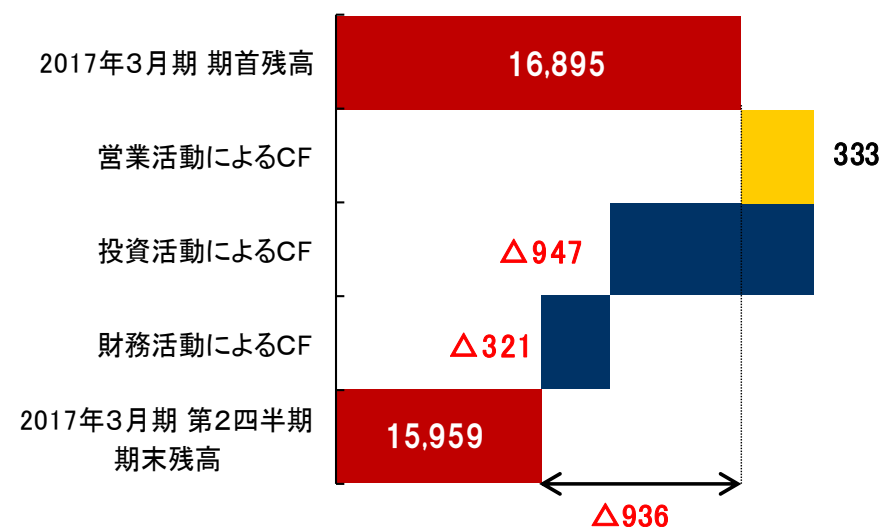
(単位:百万円)

	2016年3月期	2017年3月期 第2四半期	増減
<b>流動資産</b>	22,666	21,277	△1,388
現金及び預金	16,395	15,459	△936
売掛金	4,415	4,120	△295
たな卸資産	473	447	△26
その他	1,380	1,250	△129
<b>固定資産</b>	14,021	14,429	407
有形固定資産	10,898	11,209	310
無形固定資産	109	107	△1
投資その他の資産	3,013	3,112	99
<b>資産合計</b>	36,687	35,707	△980
<b>流動負債</b>	8,334	6,522	△1,812
<b>固定負債</b>	388	388	0
<b>負債合計</b>	8,723	6,910	△1,813
<b>純資産合計</b>	27,964	28,797	832
<b>負債・純資産合計</b>	36,687	35,707	△980
<b>自己資本比率(%)</b>	76.2	80.6	4.4

(単位:百万円)

	2016年3月期	2017年3月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,759	333
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,464	△947
財務活動によるキャッシュ・フロー	△647	△321
現金及び現金同等物の増減額	1,647	△936
現金及び現金同等物の期首残高	15,248	16,895
現金及び現金同等物の期末残高	16,895	15,959

(単位:百万円)





## 売上高 219億 61百万円(前期比 98.9%)

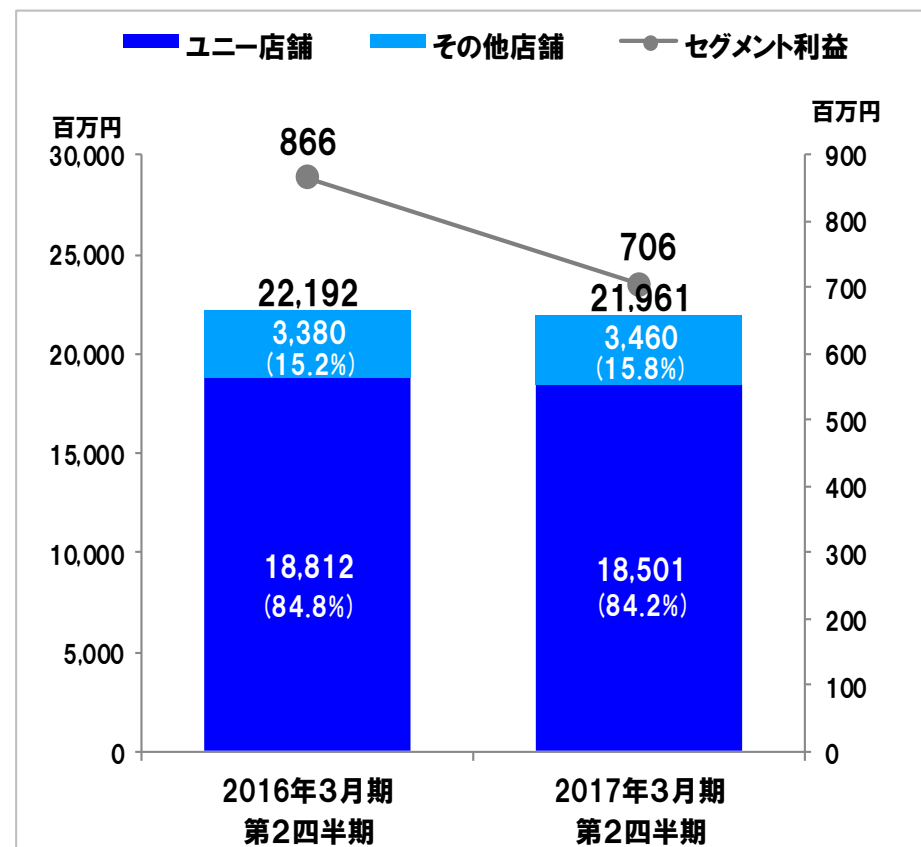
さらなる商品力の向上や販売力の強化に取り組み、店舗運営力の底上げに努めたものの、既存店舗の客数減少の影響もあり伸び悩む。

## セグメント利益 7億 6百万円(前期比 81.4%)

先を見据えた戦略的な商品投入や支出を実施したものの、売上高の減少が影響し減益。

### 上期の主なトピックス

- 新規出店 5店舗、閉店 4店舗、改装 7店舗
  - ・ イーズマートとして関西エリア初となる「イーズマート枚方T-SITE店」を7/27にオープン!!
- ユニー既存店舗における客数減少の影響
- 定番商品を見直し、美味しさの追求に注力。売場の核となる商品として確立
- 時間帯に合わせた作りたて商品の提供と売り込みの強化
- 製造機器の入替・導入による品質向上と効率アップ



(単位: 百万円)

設備投資の内容	2016年3月期 実績	2017年3月期 上期実績
店舗の新設	99	107
店舗の改装	18	63
各店舗での設備の導入等	190	75
合計	307	245



## カネ美の鶏もも唐揚げ

柔らかい鶏のもも肉に特製の醤油だれで下味をつけ、店内で一つ一つ丁寧に粉付けして揚げることにより、鶏肉本来の弾力や旨味を引き出しました。味付けには、にんにくや生姜をバランスよく加え、美味しく仕上げました。

単品以外にも、「直火炒め炒飯」や「鶏もも唐揚げ弁当」でもお召し上がりいただけます。

6個429円(税込)

定番商品の品質向上に取り組み、従来から人気の高い「鶏唐揚げ」をリニューアル。

味や製造方法を見直し、柔らかさやジューシーさにこだわり美味しく仕上げたことにより、リニューアル前と比較し、材料の仕入量がおよそ**110%**に増加。



## 野菜たっぷり！ コクまるポテトサラダ

じゃがいもの甘みや風味を活かすため、店内で蒸し上げています。また、酸味を抑えたまろやかでコクのあるマヨネーズを使用することで、じゃがいもの甘みをさらに引き出しています。その中に、たっぷりの野菜と甘みのあるコーン、旨みの強いベーコンを加えることで、より深みのある味に仕上げました。

185g 321円(税込)

定番商品の品質向上に取り組み、従来から人気の高い「ポテトサラダ」をリニューアル。

味や具材、製造方法を見直し、どこにも負けない美味しさに仕上げ、リニューアル前と比較し、材料の仕入量がおよそ**135%**に増加。

# テナント事業 設備投資の概況(製造機器の入替・導入)

## — スチームコンベクションオーブン — 上期 18 店舗導入(計 109 店舗)



### <特徴>

- ・従来、製造方法は「揚げる」「蒸す」が主流であったが、スチームコンベクションオーブンを積極的に導入し、「焼く」工程を取り入れた商品を強化。  
⇒ 商品ラインナップの充実により、幅広い客層に対応できる売場づくり
- ・人気のチーズ焼きシリーズやグリルチキンなど、ピークの時間帯に合わせ、作りたて商品の提供を強化。
- ・今期、eashionの3店舗でも新たに導入し、野菜本来の美味しさを引き出した商品づくりに注力。

## — 回転式炒め機 —

上期 4 店舗導入(計 153 店舗)

### <特徴>

- ・ドラムを回転させながら調理することにより、食材が中で攪拌され短時間で均一に火が通り、美味しく仕上がる。
- ・「直火炒め炒飯」は、従来よりご飯がパラパラで香ばしい仕上がりになり、人気商品に。
- ・活用の幅を広げ「焼きそば」を製造。生麺を使用し、野菜のフレッシュさも味わえる一品。



## — 自動巻寿司機 —

上期 51 店舗導入(計 76 店舗)

### <特徴>

- ・完成度が向上し、安定的に品質の高い商品を製造できる。
- ・製造の効率化が図れるため、従来より巻寿司の品揃えを充実することができ、満足度の向上や売上高の増加に繋がる。



# テナント事業 出退店・改装の概要①

		2016年 3月期末	2017年3月期 第2四半期末				
業態	ブランド	店舗数	出店	退店	改装	店舗数	
ユニー 店舗	総合惣菜	Kanemi	211	2	3	4	210
	寿司専門	寿司御殿	33	-	-	-	33
	洋風惣菜	K-STAGE (ケイステージ)	10	-	-	-	10
その 他 店 舗	総合惣菜	Kanemi	9	-	-	1	9
		e'z mart (イーズマート)	4	1	-	-	5
		ease deli (イーズデリ)	4	-	-	-	4
	洋風惣菜	eashion (イーション)	28	2	1	1	29
	外 食	寿司御殿	3	-	-	1	3
合 計		302	5	4	7	303	

# テナント事業 出退店・改装の概要②

出店	日付	業態	店舗名	区分	所在地	改装	日付	業態	店舗名	改装内容	所在地
	4/24	洋風	eashion nonowa国立店	商業施設	東京都国立市		4/14	洋風	eashion 上大岡京急店	ディベロッパーの改装に伴う当店改装	横浜市港南区
	7/23	総合	アピタ岡谷店	スーパーマーケット	長野県岡谷市		4/21	総合	大高店	全館改装に伴う当店改装	名古屋市緑区
	7/26	洋風	eashion エキュート大宮店	駅ビル	さいたま市大宮区		6/10	総合	各務原店	火災による全館改装に伴う当店改装	岐阜県各務原市
	7/27	総合	イズマート 枚方T-SITE店	商業施設	大阪府枚方市		7/1	総合	アピタ島田店	食品売場の改装に伴う当店改装	静岡県島田市
	9/16	総合	アピタ金沢文庫店	スーパーマーケット	横浜市金沢区		7/7	外食	回転割烹 寿司御殿 有松店	厨房内の安全面の向上 (床の防水処理等)	名古屋市緑区
退店	日付	業態	店舗名	理由	所在地	7/15	総合	アピタ戸塚店	食品売場の改装に伴う当店改装	横浜市戸塚区	
	5/15	総合	大雄山店	ディベロッパー閉鎖のため	神奈川県南足柄市	7/22	総合	中村店	食品売場の改装に伴う当店改装	名古屋市中村区	
	6/26	総合	アピタ藤枝店	ディベロッパー閉鎖のため	静岡県藤枝市						
	6/30	洋風	eashion 品川クイーンズ店	ディベロッパー改装に伴う退店	東京都港区						
8/21	総合	豊郷店	ディベロッパー閉鎖のため	滋賀県犬上郡豊郷町							



# テナント事業 新店舗のご紹介



総合惣菜

e'z mart(イースマート)

2016/7/27  
OPEN

イースマート枚方T-SITE店

大阪府枚方市 <枚方T-SITE 地下1階>



- ◆ T-SITEは、TSUTAYA事業等を手掛けるカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社が運営するライフスタイル提案型商業施設。
- ◆ 同ブランドとしては関西エリア初出店。商品・パッケージ・陳列方法等、店舗づくりのすべてを一から見直し、既存店にはない新たなイメージを構築。次なる新規出店へと繋げていく。



総合惣菜

Kanemi

2016/7/23  
OPEN

アピタ岡谷店

長野県岡谷市 <アピタ岡谷店内>

2016/9/16  
OPEN

アピタ金沢文庫店

横浜市金沢区 <アピタ金沢文庫店内>



洋風惣菜

eashion(イーション)

2016/4/24  
OPEN

eashion nonowa国立店

東京都国立市 <nonowa国立店west内>

2016/7/26  
OPEN

eashion エキュート大宮店

さいたま市大宮区 <エキュート大宮内>



## 売上高 223億 2百万円(前期比 98.5%)

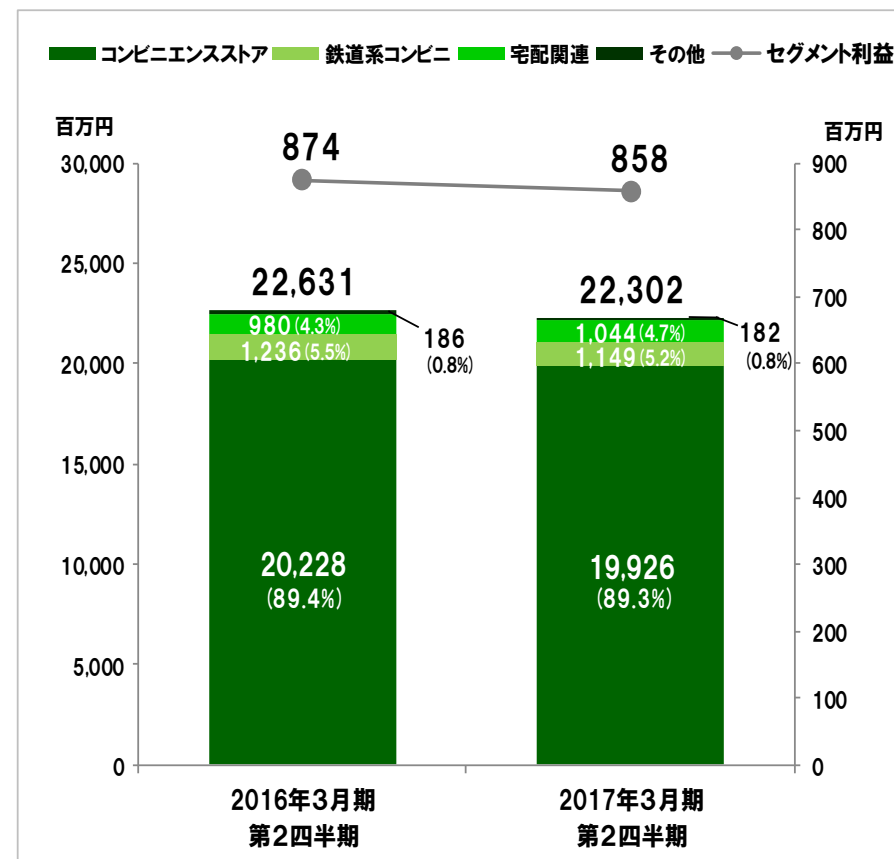
サークルKサンクス店舗向けでは、商品の見直しや販促活動により、納品量増加を図るが伸び悩む。JR西日本駅構内店舗の減少影響もあり、全体として納品量が減少。

## セグメント利益 8億 58百万円(前期比 98.1%)

エネルギー効率の良い生産設備への入替や、ガス・電気の単価ダウンが寄与し、水道光熱費を大幅に削減したものの、売上高の減少分を補うことができず減益。

### 上期の主なトピックス

- 定番商品を見直し、美味しさの追求に注力
- 販促キャンペーンの実施による需要喚起
- 管理体制の強化
  - ・品質管理基準を上げるための人材教育と設備の見直し
  - ・衛生管理のルールを全工場で統一化
  - ・工場への出入りにIC認証を導入。フードディフェンスを強化(岡崎工場)
- 前期末に取引終了したJR西日本駅構内店舗の減少影響



(単位: 百万円)

設備投資の内容	2016年3月期 実績	2017年3月期 上期実績
生産設備の更新	242	216
労務費の圧縮、生産能力増強のための設備投資	742	383
その他	289	6
合計	1,274	606



サークルK  
サンクス

## ふっくらジューシー! 鉄板焼ハンバーグ弁当

498円(税込)

ハンバーグは、牛豚比率を7:3にすることで旨みを引き出し、生玉ねぎとソテーオニオンを多めに加えることにより、ふっくらとジューシーに仕上げました。デミグラスソースには、肉と野菜の旨みが凝縮されたブイヨンを加え、味わい深く仕上げました。その他にも副菜を盛り付け、ボリューム感や彩りを重視した弁当です。

定番商品の品質向上に取り組み、ハンバーグ弁当をリニューアル。  
ハンバーグやソースの味、見た目の彩りにもこだわり改良した結果、納品量はリニューアル前と比較し、およそ**160%**に増加。

サークルK  
サンクス

## 具材たっぷり! 辛子明太子

138円(税込)



明太子は、中でも粒が大きいアラスカ産の原料を使用しており、具材感をアップしました。味付けは、枕崎産のかつおエキスと日高産の昆布エキスを使用し、素材本来の旨みを引き出しています。あわせて、具材を28%増量し、食べ応えのあるおにぎりに仕上げました。

定番商品の品質向上に取り組み、手巻おにぎりの定番「辛子明太子」をリニューアル。  
具材の味と品質、量にこだわり改良した結果、納品量はリニューアル前と比較し、およそ**130%**に増加。

## ○ 管理体制の強化

### ・ 品質管理基準を上げるための設備の見直し

既存工場において、より高いレベルの品質管理基準に対応するため、先行して横浜工場での改修工事を実施中。



製造過程における人や物の流れを見直し、工場内を衛生区と汚染区に分けレイアウト変更するなど、HACCP対応の工場に改修。合わせて従業員への教育も実施。

## ○ 新たな納品への対応（詳細は23ページに記載）

10月から新たにファミリーマート店舗へチルド惣菜シリーズ「ファミデリカ」の納品を開始するため、製造する東海工場のレイアウト変更や機器の導入を実施。

「ファミデリカ」は、添加物を減らしながらも出来立ての味わいにこだわるため、トレイ内にガスを充填することが特徴であり、納品開始に伴い、当社として初めてガス供給装置を導入。

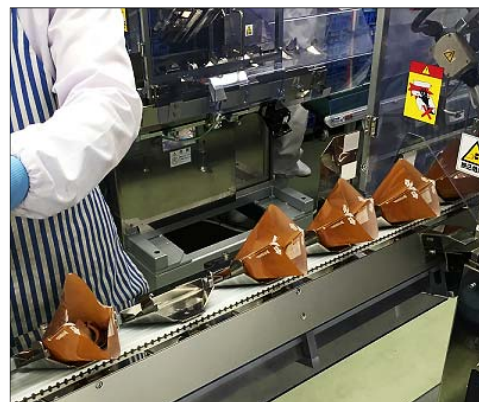
### ・ さらなるフードディフェンスの強化

工場への出入口にIC認証を導入。（岡崎工場）  
工場に出入りする人や時間を管理し、セキュリティ面を強化。

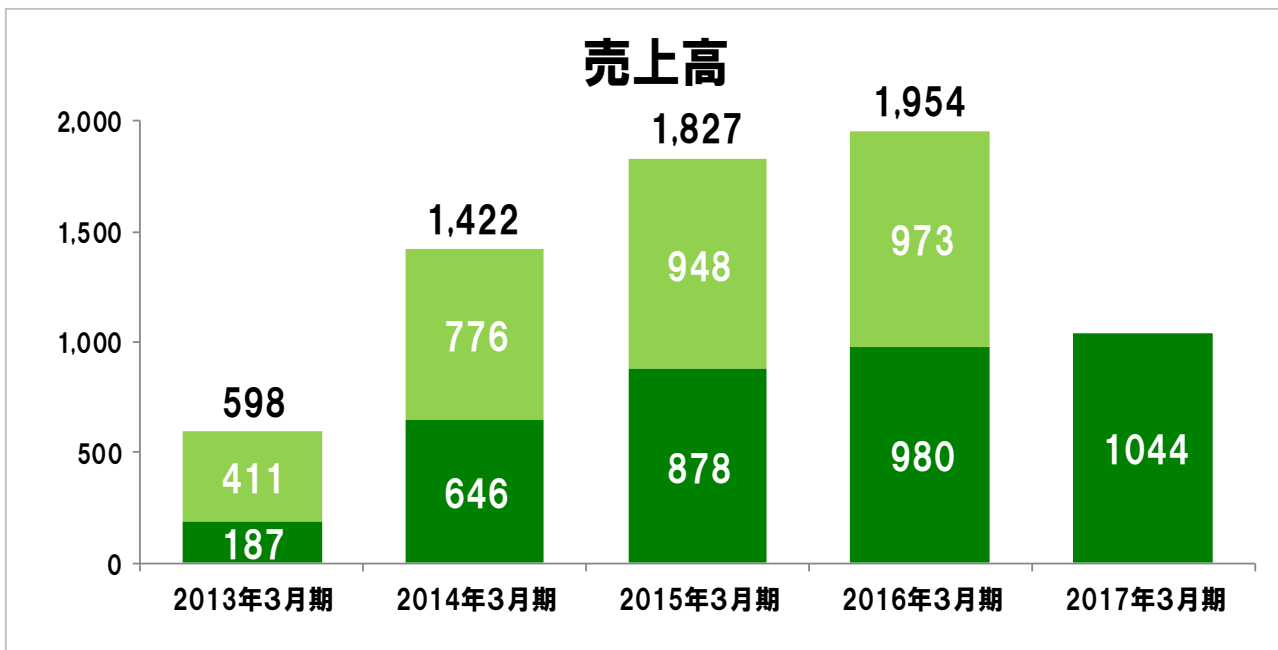
⇒ 関係者以外の入場制限

⇒ 従業員の入退管理

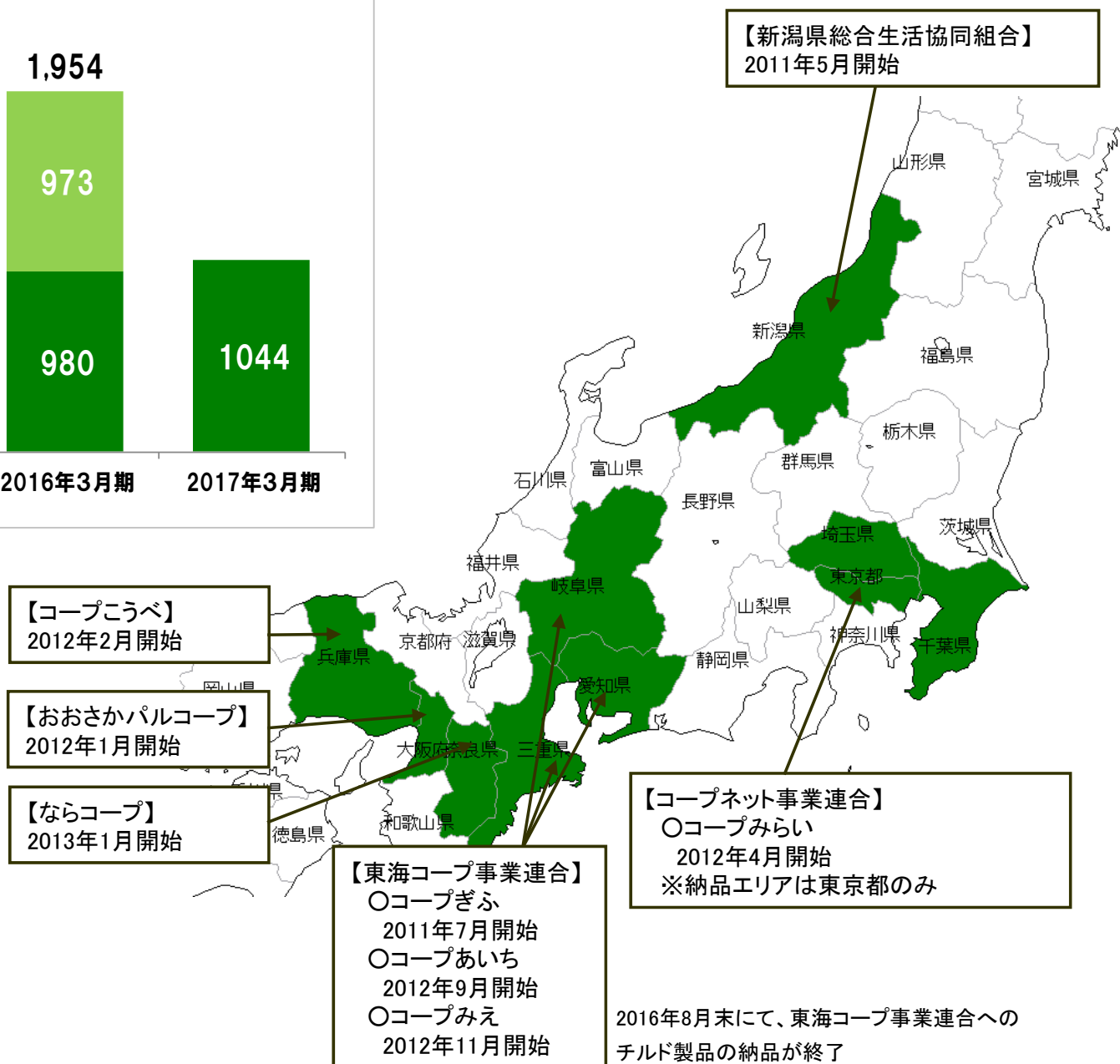
順次、既存工場への導入を予定。



# 外販事業 宅配関連



↑ 夕食宅配弁当の一例  
お弁当コース(左上)、おかずコース(右下)



## II. 今後の見通し



# 業績予想

(単位:百万円)

	2016年3月期 実績		2017年3月期 通期計画		
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	前期比(%)
売上高	89,939	100.0	90,082	100.0	100.1
テナント事業	44,948	50.0	44,786	49.7	99.6
外販事業	44,991	50.0	45,296	50.3	100.6
営業利益	3,067	3.4	3,172	3.5	103.4
経常利益	3,177	3.5	3,250	3.6	102.2
当期純利益	1,815	2.0	1,902	2.1	104.7

(注)売上高は各事業のセグメント間の内部売上高を除いて表示しております。

(単位:百万円)

設備投資計画	2016年3月期	2017年3月期	
	投資金額	投資金額	内容
テナント事業	307	262	店舗の新設及び改装等、生産設備の更新
外販事業	1,274	4,060	生産設備の更新及び増強等
その他	1	1	設備維持更新
合計	1,583	4,325	



## < テナント事業 >

- 多彩な販売チャネルを活かした独自の  
新規出店先の獲得
- さらなる商品力の強化
  - ・定番商品を見直し、美味しい商品づくりの追求
  - ・店格を上げる「kanemi PREMIUM」の育成と  
世界観の構築
- 製造機器の入替・導入による  
品質と製造効率の向上
- 適正な製造体制の確立
  - ・運営計画の精度を高め、製造の効率化を図る
  - ・曜日、時間帯に応じた意思のある売場づくり
  - ・タイムリーな製造による品質向上とロス削減

## < 外販事業 >

- コンビニエンスストアの商品統合に向けた  
体制づくりの強化
  - ・人や物の動線を見直し、品質管理基準を上げる  
ための工場改装を実施(横浜工場)
  - ・人員配置の見直しと従業員の意識改革
- ファミデリカの納品開始(10/18納品分より)
  - ・ファミリーマート店舗向けに、チルド惣菜「ファミデリカ」  
15品目の納品開始
- 定番商品を見直し、さらなる美味しさの追求
- 生産設備の入替による品質と  
生産性の向上

### 共通の重点項目

- ・安全で安心な  
商品の提供
- ・より一層美味しい  
物づくりの追求
- ・人材育成の強化、  
社内環境の整備



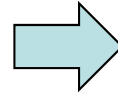
当たり前前のことを当たり前前実行する ⇒ ブランド力の強化

# テナント事業 店舗計画

		2017年3月期 第2四半期末	2017年3月期 下期計画				
業態	ブランド	店舗数	出店	退店	改装	店舗数	
ユニー店舗	総合惣菜	Kanemi	210	-	5	1	205
	寿司専門	寿司御殿	33	-	-	-	33
	洋風惣菜	K-STAGE (ケイステージ)	10	-	-	-	10
その他店舗	総合惣菜	Kanemi	9	-	-	-	9
		e'z mart (イーズマート)	5	-	-	-	5
		ease deli (イーズデリ)	4	-	-	-	4
	洋風惣菜	eashion (イーション)	29	1	1	2	29
	外食	寿司御殿	3	-	-	-	3
合計		303	1	6	3	298	

# テナント事業 新規出店について

7/27に大阪・枚方市に「イーズマート枚方T-SITE店」を新規オープン。総合惣菜店舗でありながら、既存のスーパーマーケット店舗にはない新たなイメージで店舗づくりを行い、非常に好調なスタート。同ブランドの可能性を拡大。



引き続き、当社は多彩な販売チャネルを活かし、従来のスーパーマーケットだけではなく、百貨店やその他商業施設への新規出店を推進し、独自の店舗数増加を図る。

今後においても、マーケット特性や施設のスタイルに合わせて、柔軟なブランド展開ができることを当社の強みとして、次の新規出店へとつなげていく。



11/20(日)、JR千葉駅改札内に「ペリエ千葉エキナカ」が誕生!!  
合わせて、当社『eashion』も新規オープンします!!  
ぜひ一度、お立ち寄りください。

2016/11/20  
OPEN!!

eashion ペリエ千葉エキナカ店



# 外販事業 商品展開について

## ○ ファミリーマート店舗へ チルド惣菜シリーズ「ファミデリカ」の納品開始

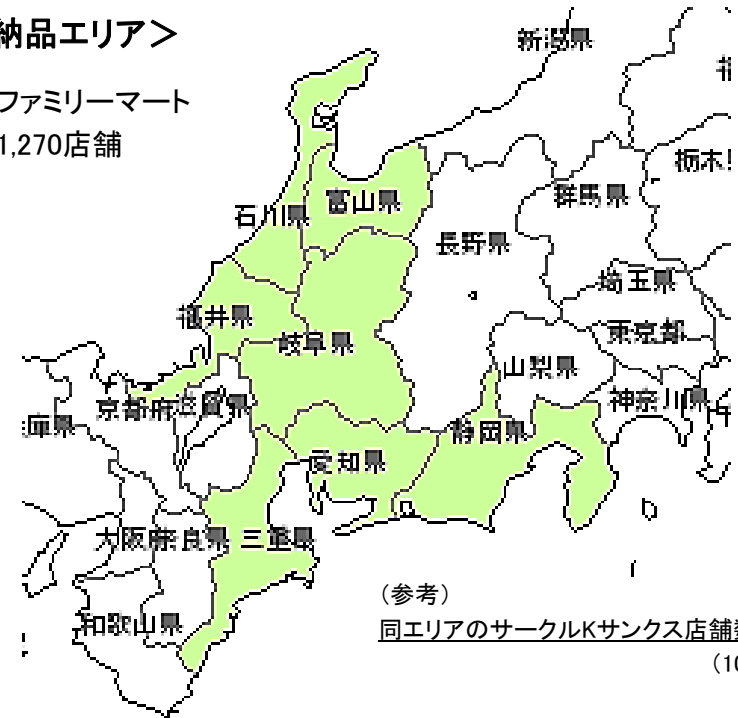
- ・ 10/18(火)納品分より、東海4県・北陸エリアのファミリーマート1,270店舗へ、チルド惣菜シリーズ「ファミデリカ」の納品を開始。
- ・ 「ファミデリカ」は、トレイ等の中にガスを充填することにより、高い鮮度感・出来立ての味わいにこだわった商品。当社は、袋を開きそのままお皿にできるおつまみ「パットラス商品」5品と、食べきりサイズで手軽に楽しめる「トップシール商品」10品を納品。
- ・ 製造する東海工場では、専用の包装機やガス供給装置など関連設備を導入。

### 「ファミデリカ」詳細

家庭の食卓の味を再現し、旬の素材、栄養バランスを考えた献立をコンセプトに、「パットラス商品」「トップシール商品」のほか、シチューやカレーなどの「パウチ商品」や「焼魚・煮魚」を取り揃え、できたての美味しさや手づくり感を味わうことのできるチルド惣菜シリーズ。

### <納品エリア>

ファミリーマート  
1,270店舗



### <パットラス商品>主な納品アイテム

- やげん軟骨焼き 280円(税込)
- いか焼き 250円(税込)
- 枝豆 168円(税込)

他2品



### <トップシール商品>主な納品アイテム

- ポテトサラダ 138円(税込)
- ひじき煮 128円(税込)
- 焼鳥(たれ) 189円(税込)

他7品

# 外販事業 今後の展開について

## ○ 2拠点を加え、東日本地区における商品供給力を強化

既存15工場に加え、新たに秋田工場および足立工場を株式会社ナガイより譲受ける。東日本地区における商品供給力を強化し、業績の拡大を図る。



### 秋田工場 (秋田県秋田市)

事業内容：米飯・調理パン・惣菜等製造  
売上高(2016年3月期)：2,303百万円

### 足立工場 (東京都足立区)

事業内容：調理パン・惣菜等製造  
売上高(2016年3月期)：3,418百万円

## ○ 設備投資計画について

主要取引先の商品統合に向け、全工場において品質アップや品管基準の向上、生産能力の増強等を目的とした投資を計画。その他、譲受2工場への関連投資も含め、今後の新たな展開に向けた投資を行っていく。

2016年3月期  
実績

1,274 百万円

2017年3月期  
計画

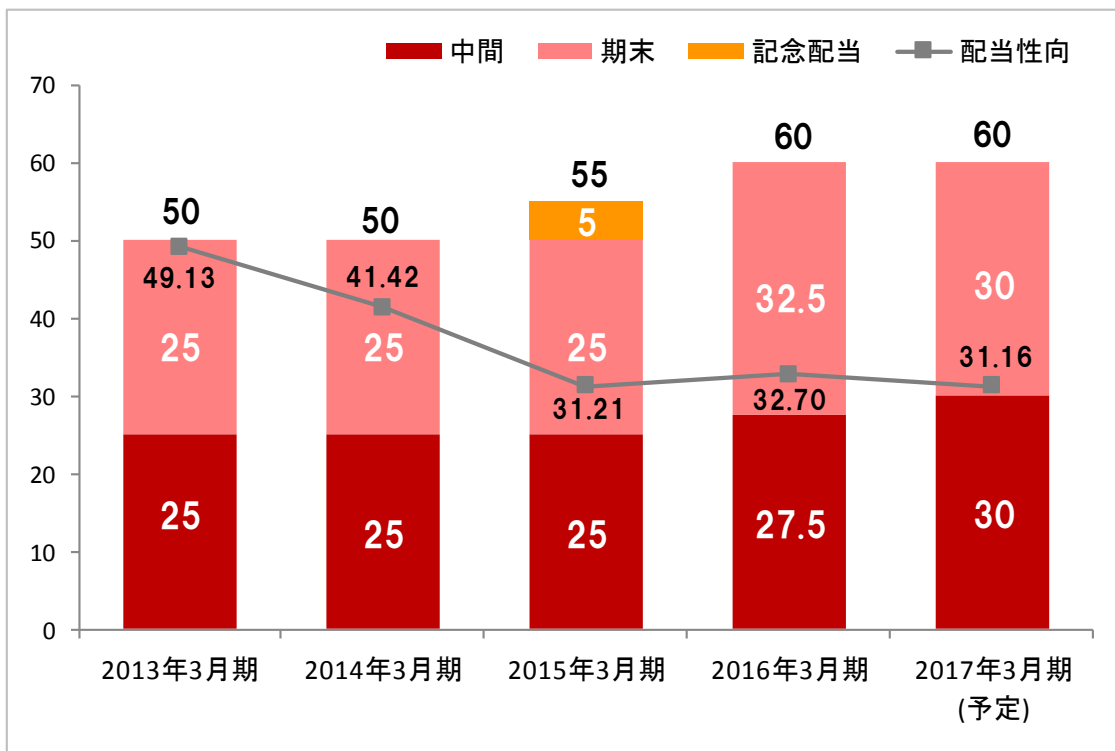
4,060 百万円



# 株主還元

## 配当金

	中間	期末	記念配当	年間配当
2015年3月期	25円	25円	5円	55円
2016年3月期	27.5円	32.5円	—	60円
2017年3月期 (予定)	30円	30円	—	60円



## 株主優待

株主さまへはそれぞれの持株数に応じて、8種類の商品から選べるセレクトグルメ配達便を、年2回贈呈しております。

### 100株以上保有の株主さま (主な商品例)



豚角煮セット



和牛ビーフコロケ & 和牛ミンチカツ

### 300株以上保有の株主さま (主な商品例)



ずわいがにしゃぶしゃぶ



札幌グランドホテル グラタン詰合せ

### 1000株以上保有の株主さま (主な商品例)



伊勢志摩産 活〆冷凍いせえび2尾詰合せ



飛騨牛 肩ロースすき焼き肉

(注)写真はイメージ



# 中食市場について

## 国内の中食(惣菜)市場規模は9兆円

中食市場は、これまで少子高齢化や核家族の進行、女性の社会進出などによるライフスタイルの変化により規模を拡大。

一方、成長性が見込まれるため、中食ベンダー・食品メーカー・SM等の参入増加により、競争環境が厳しさを増している。

当社は、この国内の中食市場内におけるシェアの拡大を図り、企業価値の向上を目指す。

### 求められているもの

#### 日常性

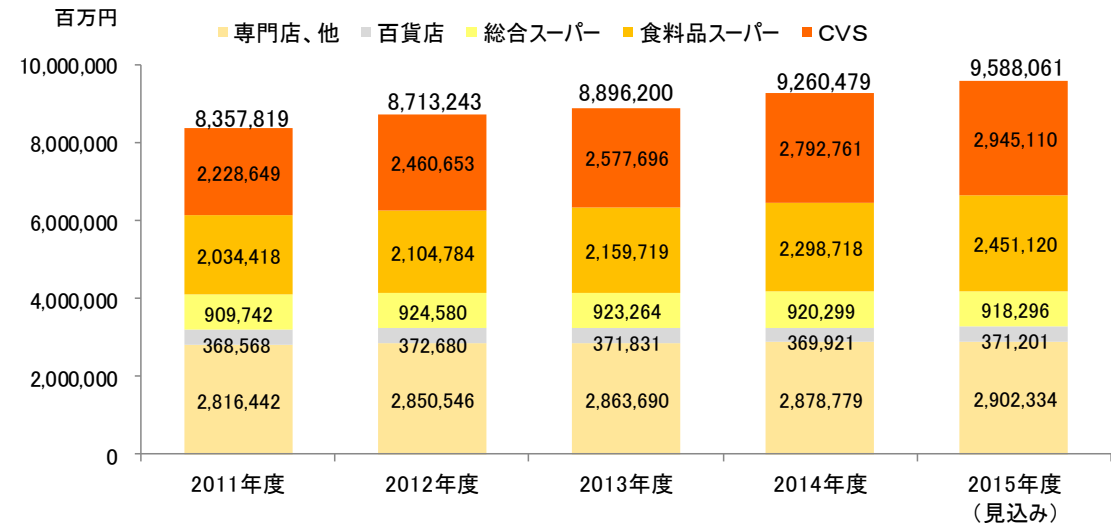
安心安全	→ 品質管理、衛生管理
おいしさ	→ 地域の自然の恵み(地産地消) 季節の恵み 鮮度 カロリーや栄養コントロール
手軽さ	→ 簡単調理 価格・ボリューム

#### 非日常性

高付加価値商品	→ デザイン性・ブランド力等 珍しい食材・高級食材 豊富なメニュー
---------	---

### 【参考資料：惣菜市場規模】

出所：社団法人日本惣菜協会 2016年度版惣菜白書



※ 専門店：惣菜専門店(惣菜販売店、持ち帰り弁当店、仕出し弁当店、給食業者、駅弁店、寿司販売店、おにぎり販売店、調理パン小売業(サンドイッチ、ハンバーガー等)、ピザ小売業(持ち帰り)など)、イトインコーナー併設型惣菜店、受注後調理型惣菜店など

### 【参考資料：年間の1世帯当たりの品目別支出平均金額(総世帯)】

出所：総務省統計データ

(品目分類)第10表 年間収入五分位階級別1世帯当たり 品目別支出金額及び購入頻度(総世帯)

